

マスターズ甲子園2018実行委員会（第2回）

日 時： 平成30年8月4日（土） 15：30～17：30

場 所： 神戸ポートピアホテル・（南館B1F ルビー）

出席者：理事：樽谷、多胡、高山、小川、前崎、高田、杉山、谷、乾、長ヶ原

事務局：松村、松崎、山下

欠席者：高橋、宝槻、戒能、北野、岡田、小藺、小林、彦次

議題：

- 1) 2018予選大会途中経過について（資料1：本大会プログラム）
- 2) 2018本大会準備状況について（資料2：年間スケジュール、資料3：予算）
- 3) 2019年追加枠申請について（資料4：2018—2019シリーズ）
- 4) 2020年以降シリーズ案と全国高校野球OBクラブ運営について
（資料5：加盟状況とシリーズ案、資料6：2020年以降シリーズ案）
- 5) その他

議事録

15：30に長ヶ原実行委員長（以下、委員長と称す）より開会の挨拶と次第内容及び実行委員会出席者の確認を行い、開会。

議題1) 2018予選大会途中経過について（資料1：本大会プログラム）

●マスターズ甲子園2018本大会プログラム（資料1）

委員長より資料1に基づき、第15回マスターズ甲子園2018の大会プログラムについて説明された。前崎実行委員、高山実行委員より予選大会日程について説明された。委員長より、西日本豪雨に伴う、中国・四国ブロック内でのマスターズ甲子園加盟校の状況について報告された。小川実行委員より、三重県予選大会の結果報告並びに夏の高校野球選手権大会三重予選を放送しているローカルテレビにてマスターズ甲子園予選大会の集客を目的としたCM放映の報告がされた。委員長より、現時点でマスターズ甲子園2018出場16チームのうち、13チーム（選

抜チーム含め)が出場決定した旨が報告された。甲子園キャッチボールプログラムについて、本年度は従来から実施していたキャッチボールプログラムを「マスターズ甲子園オリジナルプログラム」とし、さらに上記のプログラムに加え「全国高校野球選手権第100回記念プログラム」を実施することが確認された。

議題2) 2018本大会準備状況について(資料2:年間スケジュール、資料3:予算)

●全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2018関連主要スケジュール(資料2、補足資料1)

委員長より資料2に基づき、全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2018関連主要スケジュールについて説明された。6月17日より応募が開始された大会ボランティアの申し込み数が100人である旨、プラスバンドボランティアについては、全ての担当高校が決定した旨が報告された。委員長より、7月12日に、連合事務局から「地方予選大会硬式球」をマスターズ甲子園2018年予選リーグ開催する16都道府県に発送完了した旨が報告された。委員長より、代表OB校チームに対しての資料確認が完了し、8月上旬を目処に各代表校が及び幹事校に向けて発送する旨が確認された。委員長より、以前の実行委員会で樽谷特別顧問より提案された、星野大会名誉会長の追悼の意を表す取り組みとして、開会式での星野大会名誉会長の動画の放映及び大会ガイドブックへの掲載について計画を進めている旨が報告された。委員長より、本大会のポスターは協賛各社の兼ね合いや朝日新聞の確認がとれ次第の発送となる旨が伝えられ、8月後半を目処に各加盟OB校幹事に向けて発送になることが報告された。

●全国高校野球OBクラブ連合2018年度予算(資料3-1)

委員長より、資料3-1に基づき、昨年度総会からの変更点である「加盟費」「年会費」の収入について確認された。具体的には、5月19日時点での加盟校増加により加盟費が46万円、年会費が566万円に変動した旨が報告された。

●マスターズ甲子園2018年度予算(資料3-2)

委員長より、資料3-2に基づき、協賛金収入の変更点についての説明がされた。特別協賛となっていた花王株式会社の撤退により、新たな特別協賛獲得を目指し、3社に対してアプローチを取っている旨、特別協賛決定の時期としては、9月の月上旬を目処に決定する旨が報告された。また、委員長より「新規広告」「新規バナー協賛」「個人・団体寄付金」の申請に関して説明が行われ、マスターズ甲子園2018実行委員全員に対し、協力を仰ぐため広告・協賛・寄付金申請に関する資料を送付することが確認された。

議題3) 2019年追加枠申請について(資料4)

委員長より資料4に基づき、2019年追加枠申請について説明された。追加枠申請の募集条件について、マスターズ甲子園2018-2019シリーズ第一次募集時に2019年大会へ申請をしたリーグ(宮城・群馬・岐阜・鳥取・島根)の5リーグと昨年度総会での抽選会の結果、マスターズ甲子園2019年度予選大会開催が決定したリーグ(岩手・埼玉・大阪・兵庫・宮崎・鹿児島)の6リーグの合計11リーグ以外の29リーグが追加枠の対象となる旨が確認された。委員長より、2019年度追加枠については、11リーグの申請枠を除いた5枠を対象に追加枠を募集する旨が確認された。

議題4) 2020年以降シリーズ案と全国高校野球OBクラブ運営について(資料5:全国高校野球OBクラブ連合加盟状況、資料6:2020年以降シリーズ案)

●全国高校野球OBクラブ連合加盟状況(資料5)

委員長より、資料5に基づき、全国高校野球OBクラブ連合加盟状況について説明された。2018年8月3日現在で40都道府県、合計630校の加盟となっている旨、また、秋田県と石川県が現在加盟校を増やし、新規リーグの開設に向けての動きを見せている旨が報告された。委員長より、中国・四国ブロックの動向が説明され、中国・四国ブロック戒能理事を中心に10月13日・14日の二日間でブロック親睦大会開催に向けて計画を進めている旨、現時点で、中国・四国ブロック6リーグのうち5リーグが参加意向を見せている旨が報告された。また、大阪府リーグの動向として、PL学園が全国高校野球OBクラブ連合加盟に向けて活動を展開している報告がされた。

●マスターズ甲子園2020年以降シリーズ案(資料6)

委員長より、資料6-1・6-2に基づき、マスターズ甲子園2020以降シリーズ案についてのシステムが説明された。1日5試合開催については、甲子園球場との協議の結果、承認いただいた旨が報告された。資料6-1の案としては、3年シリーズの最終年に6ブロック枠を導入し、資料6-2の案では、シリーズ最終年にブロック大会を勝ち抜いた東日本代表と西日本代表が本大会へ出場し、日本一を決める案が出された。前崎実行委員より、1日5試合の開催が可能であれば、従来の2年シリーズを継続する案がブロック内に出る可能性がある旨が報告された。浪花実行委員より、シリーズの枠組みを頻繁に変更するのは、大会を運営する各都道府県幹事に向けて困惑を招く可能性がある旨が報告された。杉山実行委員より、3年シリーズを展開した場合、申請年度により2021大会、2022大会の追加枠の抽選方法について再検討する必要がある旨が報告された。各実行委員との協議の結果、3年シリーズ案については、本実行委員会で提案された2案をもとに、①シリーズ出場資格②ブロック大会出場資格に焦点を当て、各都道府県幹事からの意見を各ブロック幹事が集約し、次回の理事会・実行委員会にてそれらの意見を参考にシリーズ案の構築を目指すことで一致した。

議題5) その他

●第3回全国高校野球OBクラブ連合理事会・第3回マスターズ甲子園2018実行委員会開 について

委員長より、第3回全国高校野球OBクラブ連合理事会・マスターズ甲子園2018第3回実行委員会については、10月13日に神戸大学で開催される旨が報告された。

●第100回全国高等学校野球選手権記念大会×全国高校野球OBクラブ連合連携事業

委員長より、夏の高校野球100記念大会を祝した取り組みとして、補足資料2を元に全国高校野球OBクラブ連合が実施している、取り組みについて確認された。彦次実行委員が中心となって活動しているマスターズ甲子園ホームページを活用した、OBから現役へ向けたメッセージの発信についての現状報告がされた。今後も、彦次実行委員とマスターズ甲子園大会事務局が連携を取りながら、検討している方向で一致した。

●マスターズ甲子園15周年感謝状の発行について

高田実行委員より、10回記念大会時にも実施していた、審判員を始めとした社会人ボランティアに向けた感謝状の発行を15回大会でも実施する案が出された。具体的な施策については、大会事務局を中心に案をまとめ、今後の実行委員会で引き続き協議することで一致した。

●星野大会名誉会長追悼の意を表す取り組みについて

マスターズ甲子園第15回大会における、星野大会名誉会長の追悼の意を表す取り組みについては、大会事務局を中心に、意見を集約し、次回の実行委員会で引き続き協議する方向で一致した。

以上をもって議案の審議が終了し、理事長により17:44に散会。